

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2019年6月1日 189号  
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## 第7回パクー放流式

*Siembra de Pacú, Puerto Leda*



第7回パクー稚魚放流現場に集合した、オリンポ市の学生、教師、レダ基地スタッフ、ほか。5月10日 レダ基地。



学生たち自ら放流用のパクーを網で囲い集める。



集めたパクーを川岸に運ぶ。



放流するパクーを手にする学生たち。

五月十日、レダ基地で毎年恒例となつてあるパクーの放流式を行いました。今回はオリンポ市の高校生と教師を迎えて、若い活気に溢れた式典となりました。参加した学生たちは、養殖池に網を持って入り、魚を取り出すという異例の放流を体験してもらうことを主眼としました。参加者全員が放流することはもちろん、多くの若者が参加できるよう、毎週金曜日に通過する定期貨客船アキダバンでレダへ往復できるよう計画しました。オリンポの高校では、校長先生をはじめ、教師と学生たちが指折り数えて、その日を待つていたと言います。当初は五月三日を予定したのですが、天候が悪く、翌週に延期。幸い五月十日は、好天に恵まれました。

十日午前二時、オリンポからの学生三十一名と先生方三名が到着。準備しておいた部屋で休んでもらいました。朝食後、大ホールで中田所長、佐野氏、岩澤氏が、稚魚放流の意義と「皆さんのが住むこの地のすばらしさ」について語りました。そして養殖池に案内し、池からパクーを取り出す作業を説明。彼らは興奮しながら、喜んで作業してくれました。今回は大きめに育った若魚を放流します。そのパクーを川岸まで運び、自らの手で巴拉グアイ川に放ちました！

続いては、レダ基地の施設見学。農場、タロイモ田、魚肉工房など、興味が尽きません。昼食後、レダとオリンポの青年が、歌やダンスを披露し合い、楽しく交流しました。その後、自由時間となり、皆一齊にプールへ直行。きれいで安全な水に初めて入った若者たちは、歓声を上げて、思い切り泳いでいました。

今回の放流式では、経費が低くて済んだのですが、予想以上に素晴らしい式典となりました。帰りの船が遅れて夜になつたので、夕食も急遽準備しました。レダの青年と研究生たちが大活躍してくれたことも、特筆したいと思います。

「生涯忘れられない経験！」

今レダ基地では



岩澤さん母娘が日本に出発するのを見送る。5月8日



放流式に参加したオリンポの学生と先生方。5月10日



アキダバンの船上でパクー製品を販売。5月3日



豚を販売する土弘君。



小橋氏がパクー製品などを説明。5月10日



堀さんが釣ったスルビは80cm、5kg。



天然パクーの大物を釣った西山さん。



冬に備え、エビを池から温かい水槽に移す。



水田展聖君を歓迎するケーキ。4月15日



佐野氏と共にレダに到着した水田君（左から3人目）4月15日



# 第十九回パンタナール一日研修会報告



去る四月二十七日（土）、午前十時二十分から午後四時すぎまで、第十九回パンタナール一日研修会（ワンドイセミナー）を、東京代々木のオリンピック記念青少年総合センター、センターホテル四〇三号室（定員80名）で開催しました。窓からは、萌える新緑の木々が目に飛び込んでくる部屋です。今回が平成最後のパンタナールセミナーとなりました。

当初の参加予定人数は82名（一般参加者51名、特別会員12名、実行スタッフ19名）でしたが、当日参加申し込みもあり、合計83名（一般参加者50名、特別会員15名、実行スタッフ18名）でした。

セミナーは、実行委員長の挨拶に始まり、まず柴沼邦彦先生による「レバレンジ・ムーンの思想とレダ開発」の講義。提唱者文先生の「何事にも精誠を尽し、すべてを丸ごと飲み込むパンタナール精神」を軸に、初期のレダ基地での過酷な生活が写真と動画を交えて紹介され、参加者皆が感動していました。

午前の講義の後、棟の外に出て、新緑に囲まれた

階段で全体記念写真を撮影し、その後青少年総合センター内の食堂で昼食に入りました。

午後のプログラムは十二時四十分から、高辻章子さんとの歌う「パンタナール賛歌」で始まりました。

「地球の緑を守る会」代表理事の高津啓洋先生による講義は、参加者たちを南米パンタナールに生息する様々な動物（巨大タガメ、カイマンワニ、ピラニ）の頭蓋骨、

ご尽力に感謝致します。実行委員長、後藤誠一記

・更に充実させて行きたいと思います。皆様のご支援

アの剥製、ガラガラ蛇のしつぽ等）の標本に触れさせながら、パラグアイでの植樹活動や、植樹・植林

の師・宮脇昭先生（同会顧問）との出会いと、日本における同会の支部活動の様子が語られました。

続いて青年中期ボランティアとして半年間レダで活動した諏訪泰弘君から「若い自分が、七十歳を過ぎても頑張っている先輩たちには負けられない、自分もレダ語の先輩たちのようになります」と、力強い決意の報告がありました。

その後、島田賢二青年局長から「会員募集のためのパンフレット紹介」の説明があり、継続的活動を発展させるための熱い思いが語されました。

締め括りは、当法人の中田欣宏代表理事による「レダにおける今後の展望」の発表。レダ開拓二十年周年に向けた日本での取り組みや、レダ基地の完全自立経済に向けた取り組みが説明されました。

プログラムの最後に、セミナースタッフの高橋容子さんによる「入会案内」と、各講師を囲んでの分科会が行われました。そして参加者の中から二名が今回のセミナーの感想と決意を発表し、午後四時十五分にすべてのプログラムを終了しました。

持ち、レダに行きたいと熱望する青年が増えてきていること、長期ボランティに参加した子供の姿に感動しセミナーに参加される親御さんが出てきていることです。現在鮮文大から三名の学生が、エビの養殖の手伝いでレダ基地に行っていますが、その中の一人の方のお母さんがセミナーに参加しておられました。またシニアボランティアとしてレダに行くことを決意している壮年も参加して下さいました。他には東京の家庭教会の責任者が多忙な中、午後の時間に参加してくださいました。参加者の中には、研修室に入るや涙があふれて止まらなかつたと述べました。今後もこのようないいセミナーを更に充実させて行きたいと思います。

皆さんご支援、ご尽力に感謝致します。実行委員長、後藤誠一記

・更に充実させて行きたいと思います。皆様のご支援

アの剥製、ガラガラ蛇のしつぽ等）の標本に触れさせながら、パラグアイでの植樹活動や、植樹・植林

の師・宮脇昭先生（同会顧問）との出会いと、日本における同会の支部活動の様子が語られました。

アとして半年間レダで活動した諏訪泰弘君から「若い

自分が、七十歳を過ぎても頑張っている先輩たちには負けられない、自分もレダ語の先輩たちのようになります」と、力強い決意の報告がありました。

その後、島田賢二青年局長から「会員募集のためのパンフレット紹介」の説明があり、継続的活動を

発展させるための熱い思いが語られました。

締め括りは、当法人の中田欣宏代表理事による「レダにおける今後の展望」の発表。レダ開拓二十

周年に向けた日本での取り組みや、レダ基地の完全

自立経済に向けた取り組みが説明されました。

プログラムの最後に、セミナースタッフの高橋容

子さんによる「入会案内」と、各講師を囲んでの分

科会が行われました。そして参加者の中から二名が

今回のセミナーの感想と決意を発表し、午後四時十

五分にすべてのプログラムを終了しました。

持ち、レダに行きたいと熱望する青年が増えてきて

いること、長期ボランティに参加した子供の姿に感

動しセミナーに参加される親御さんが出てきてい

ることです。現在鮮文大から三名の学生が、エビの養

殖の手伝いでレダ基地に行っていますが、その中の

一人の方のお母さんがセミナーに参加しておられま

した。またシニアボランティアとしてレダに行くこ

とを決意している壮年も参加して下さいました。他

には東京の家庭教会の責任者が多忙な中、午後の時

間に参加してくださいました。参加者の中には、研

修室に入るや涙があふれて止まらなかつたと述べ

ました。今後もこのようないいセミナーを更に充実

させて行きたいと思います。

皆様のご支援、ご尽力に感謝致します。実行委員長、後藤誠一記

・更に充実させて行きたいと思います。皆様のご支援

アの剥製、ガラガラ蛇のしつぽ等）の標本に触れさせながら、パラグアイでの植樹活動や、植樹・植林

の師・宮脇昭先生（同会顧問）との出会いと、日本における同会の支部活動の様子が語られました。

アとして半年間レダで活動した諏訪泰弘君から「若い

自分が、七十歳を過ぎても頑張っている先輩たちには負けられない、自分もレダ語の先輩たちのようになります」と、力強い決意の報告がありました。

その後、島田賢二青年局長から「会員募集のため

のパンフレット紹介」の説明があり、継続的活動を

発展させるための熱い思いが語られました。

締め括りは、当法人の中田欣宏代表理事による「レダにおける今後の展望」の発表。レダ開拓二十

周年に向けた日本での取り組みや、レダ基地の完全

自立経済に向けた取り組みが説明されました。

プログラムの最後に、セミナースタッフの高橋容

子さんによる「入会案内」と、各講師を囲んでの分

科会が行われました。そして参加者の中から二名が

今回のセミナーの感想と決意を発表し、午後四時十

五分にすべてのプログラムを終了しました。

持ち、レダに行きたいと熱望する青年が増えてきて

いること、長期ボランティに参加した子供の姿に感

動しセミナーに参加される親御さんが出てきてい

ることです。現在鮮文大から三名の学生が、エビの養

殖の手伝いでレダ基地に行っていますが、その中の

一人の方のお母さんがセミナーに参加しておられま

した。またシニアボランティアとしてレダに行くこ

とを決意している壮年も参加して下さいました。他

には東京の家庭教会の責任者が多忙な中、午後の時

間に参加してくださいました。参加者の中には、研

修室に入るや涙があふれて止まらなかつたと述べ

ました。今後もこのようないいセミナーを更に充実

させて行きたいと思います。

皆様のご支援、ご尽力に感謝致します。実行委員長、後藤誠一記

・更に充実させて行きたいと思います。皆様のご支援

アの剥製、ガラガラ蛇のしつぽ等）の標本に触れさせながら、パラグアイでの植樹活動や、植樹・植林

の師・宮脇昭先生（同会顧問）との出会いと、日本における同会の支部活動の様子が語られました。

アとして半年間レダで活動した諏訪泰弘君から「若い

自分が、七十歳を過ぎても頑張っている先輩たちには負けられない、自分もレダ語の先輩たちのようになります」と、力強い決意の報告がありました。

その後、島田賢二青年局長から「会員募集のため

のパンフレット紹介」の説明があり、継続的活動を

発展させるための熱い思いが語られました。

締め括りは、当法人の中田欣宏代表理事による「レダにおける今後の展望」の発表。レダ開拓二十

周年に向けた日本での取り組みや、レダ基地の完全

自立経済に向けた取り組みが説明されました。

プログラムの最後に、セミナースタッフの高橋容

子さんによる「入会案内」と、各講師を囲んでの分

科会が行われました。そして参加者の中から二名が

今回のセミナーの感想と決意を発表し、午後四時十

五分にすべてのプログラムを終了しました。

持ち、レダに行きたいと熱望する青年が増えてきて

いること、長期ボランティに参加した子供の姿に感

動しセミナーに参加される親御さんが出てきてい

ることです。現在鮮文大から三名の学生が、エビの養

殖の手伝いでレダ基地に行っていますが、その中の

一人の方のお母さんがセミナーに参加しておられま

した。またシニアボランティアとしてレダに行くこ

とを決意している壮年も参加して下さいました。他

には東京の家庭教会の責任者が多忙な中、午後の時

間に参加してくださいました。参加者の中には、研

修室に入るや涙があふれて止まらなかつたと述べ

ました。今後もこのようないいセミナーを更に充実

させて行きたいと思います。

皆様のご支援、ご尽力に感謝致します。実行委員長、後藤誠一記

・更に充実させて行きたいと思います。皆様のご支援

アの剥製、ガラガラ蛇のしつぽ等）の標本に触れさせながら、パラグアイでの植樹活動や、植樹・植林

の師・宮脇昭先生（同会顧問）との出会いと、日本における同会の支部活動の様子が語られました。

アとして半年間レダで活動した諏訪泰弘君から「若い

自分が、七十歳を過ぎても頑張っている先輩たちには負けられない、自分もレダ語の先輩たちのようになります」と、力強い決意の報告がありました。

その後、島田賢二青年局長から「会員募集のため

のパンフレット紹介」の説明があり、継続的活動を

発展させるための熱い思いが語られました。

締め括りは、当法人の中田欣宏代表理事による「レダにおける今後の展望」の発表。レダ開拓二十

周年に向けた日本での取り組みや、レダ基地の完全

自立経済に向けた取り組みが説明されました。

プログラムの最後に、セミナースタッフの高橋容

子さんによる「入会案内」と、各講師を囲んでの分

科会が行われました。そして参加者の中から二名が

今回のセミナーの感想と決意を発表し、午後四時十

五分にすべてのプログラムを終了しました。

持ち、レダに行きたいと熱望する青年が増えてきて

いること、長期ボランティに参加した子供の姿に感

動しセミナーに参加される親御さんが出てきてい

ることです。現在鮮文大から三名の学生が、エビの養

殖の手伝いでレダ基地に行っていますが、その中の

一人の方のお母さんがセミナーに参加しておられま

した。またシニアボランティアとしてレダに行くこ

とを決意している壮年も参加して下さいました。他

には東京の家庭教会の責任者が多忙な中、午後の時

間に参加してくださいました。参加者の中には、研

修室に入るや涙があふれて止まらなかつたと述べ

ました。今後もこのようないいセミナーを更に充実

させて行きたいと思います。

皆様のご支援、ご尽力に感謝致します。実行委員長、後藤誠一記

・更に充実させて行きたいと思います。皆様のご支援

アの剥製、ガラガラ蛇のしつぽ等）の標本に触れさせながら、パラグアイでの植樹活動や、植樹・植林

の師・宮脇昭先生（同会顧問）との出会いと、日本における同会の支部活動の様子が語られました。

アとして半年間レダで活動した諏訪泰弘君から「若い

自分が、七十歳を過ぎても頑張っている先輩たちには負けられない、自分もレダ語の先輩たちのようになります」と、力強い決意の報告がありました。

その後、島田賢二青年局長から「会員募集のため

のパンフレット紹介」の説明があり、継続的活動を

発展させるための熱い思いが語られました。

締め括りは、当法人の中田欣宏代表理事による「レダにおける今後の展望」の発表。レダ開拓二十

周年に向けた日本での取り組みや、レダ基地の完全

自立経済に向けた取り組みが説明されました。

プログラムの最後に、セミナースタッフの高橋容

子さんによる「入会案内」と、各講師を囲んでの分

科会が行われました。そして参加者の中から二名が

今回のセミナーの感想と決意を発表し、午後四時十

五分にすべてのプログラムを終了しました。

持ち、レダに行きたいと熱望する青年が増えてきて

いること、長期ボランティに参加した子供の姿に感

動しセミナーに参加される親御さんが出てきてい

ることです。現在鮮文大から三名の学生が、エビの養

殖の手伝いでレダ基地に行っていますが、その中の

一人の方のお母さんがセミナーに参加しておられま

した。またシニアボランティアとしてレダに行くこ

とを決意している壮年も参加して下さいました。他

には東京の家庭教会の責任者が多忙な中、午後の時

間に参加してくださいました。参加者の中には、研

修室に入るや涙があふれて止まらなかつたと述べ

ました。今後もこのようないいセミナーを更に充実

させて行きたいと思います。

皆様のご支援、ご尽力に感謝致します。実行委員長、後藤誠一記

・更に充実させて行きたいと思います。皆様のご支援

アの剥製、ガラガラ蛇のしつぽ等）の標本に触れさせながら、パラグアイでの植樹活動や、植樹・植林

の師・宮脇昭先生（同会顧問）との出会いと、日本における同会の支部活動の様子が語られました。

アとして半年間レダで活動した諏訪泰弘君から「若い

自分が、七十歳を過ぎても頑張っている先輩たちには負けられない、自分もレダ語の先輩たちのようになります」と、力強い決意の報告がありました。

その後、島田賢二青年局長から「会員募集のため

のパンフレット紹介」の説明があり、継続的活動を

発展させるための熱い思いが語られました。

締め括りは、当法人の中田欣宏代表理事による「レダにおける今後の展望」の発表。レダ開拓二十

周年に向けた日本での取り組みや、レダ基地の完全

自立経済に向けた取り組みが説明されました。

プログラムの最後に、セミナースタッフの高橋容

子さんによる「入会案内」と、各講師を囲んでの分

科会が行われました。そして参加者の中から二名が

今回のセミナーの感想と決意を発表し、午後四時十

五分にすべてのプログラムを終了しました。

持ち、レダに行きたいと熱望する青年が増えてきて

いること、長期ボランティに参加した子供の姿に感

動しセミナーに参加される親御さんが出てきてい

ることです。現在鮮文大から三名の学生が、エビの養

殖の手伝いでレダ基地に行っていますが、その中の

一人の方のお母さんがセミナーに参加しておられま

した。またシニアボランティアとしてレダに行くこ

とを決意している壮年も参加して下さいました。他

には東京の家庭教会の責任者が多忙な中、午後の時

間に参加してくださいました。参加者の中には、研

修室に入るや涙があふれて止まらなかつたと述べ

ました。今後もこのようないいセミナーを更に充実

させて行きたいと思います。

皆様のご支援、ご尽力に感謝致します。実行委員長、後藤誠一記

・更に充実させて行きたいと思います。皆様のご支援

アの剥製、ガラガラ蛇のしつぽ等）